

Fukuoka Asian Art Museum Art Exchange Programs Annual Report 2020-2021

令和 2 年度
福岡アジア美術館交流事業報告書（『年報』抜粋）

交流事業

交流事業

1 招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、海外から美術作家等の招聘ができず、本事業の実施を次年度に延期した。

交流事業

2 受入支援事業

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究をおこなうことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援するもの。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、海外から美術作家等の招聘ができず、本事業の実施を次年度に延期した。

交流事業

3 地域交流事業

「博多リバレイン灯明」

毎年10月に開催されている地域イベント「博多リバレイン灯明」へ、当館に滞在中の招聘アーティストがデザインを提供しているが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本イベントの開催が中止された。

交流事業における招聘事業および受入支援事業の過去の取り組みや、進行中のプログラムの様子をより多くの人に伝えるために、「あじびレジデンスの部屋」と題した記録展をアジアギャラリーで実施。

第1期 今年度のレジデンス紹介

2020年3月21日(土)～6月23日(火)

今年度の招聘事業、受入支援事業でそれぞれ福岡に滞在する予定だった3名のアーティストを紹介。また、昨年度の受入支援事業に参加した研究者1名の活動の成果を、パネルや研究対象の作品を用いて紹介した。



第3期 川端通商店街から生まれた

2020年9月24日(木)～12月25日(金)

当館の真向かいに位置する川端通商店街は、多くの招聘アーティストが作品制作や展示、パフォーマンスをおこなった場所である。本展では地域との交流という観点から交流事業を紹介するため、川端通商店街で制作された作品や展示した作品、パフォーマンスの記録などを展示した。



第2期 夏のレジデンス・ワークショップ特集

2020年6月25日(木)～9月22日(火)

当館では開館以来、招聘したアーティストによって300回を超えるワークショップがおこなわれてきた。本展では、過去のワークショップを作品や記録写真などによって紹介。また、展示にあわせて過去に招聘アーティストがおこなったものを再現するかたちで、オンラインでのワークショップを開催した。



第4期 レジデンス成果報告展 福岡で出会ったひと

2021年1月2日(土)～4月13日(火)

アーティストが福岡滞在中に出会った人が参加した作品や、地元クリエイターとのコラボレーション作品、地域の人をモデルにした作品などを、関わった人たちのコメントとともに展示。「ひと」をテーマに繰り広げられてきた交流事業の一端を紹介した。



追悼展示

リンチェン・ウォンディさんを偲んで

2021年1月2日～7月6日

2006年の招聘事業で滞在したブータンのアーティスト、リンチェン・ウォンディ氏が、2020年11月に他界したのを偲んで、追悼展示をおこなった。滞在時の活動を紹介するパネルと絵画作品4点、ワークショップで使用した版木などをラウンジM8とアートカフェの柱に展示して福岡の人々との交流を回顧した。



関連記事

- 2020. 5.22 プラスフクオカ「あじびレジデンスの部屋 第1期—今年度のレジデンス紹介」
(<https://plusfukuoka.com/faam-202003-room-for-faam-residence-program/>)
- 2020. 6.25 アートアジェンダ「あじびレジデンスの部屋 第2期—夏のレジデンス・ワークショップ特集」
(<https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/5046>)
- 2020. 6.25 プラスフクオカ「あじびレジデンスの部屋 第2期—夏のレジデンス・ワークショップ特集」
(<https://plusfukuoka.com/faam-202006-room-for-faam-residence-program/>)
- 2020. 6.25 博多リバレインホームページ「あじびレジデンスの部屋 第2期—夏のレジデンス・ワークショップ特集」
(<http://riverain.co.jp/information/info/4254/>)
- 2020. 7.17 西日本新聞(朝)「あじびレジデンスの部屋 第2期夏のレジデンス・ワークショップ特集」
- 2020. 8.24 アートアジェンダ「あじびレジデンスの部屋 第3期—川端通商店街から生まれた」
(<https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/5212>)
- 2020. 9.27 読売新聞(朝)「芸術の秋 画面に集う オンライン体験講座」
- 2020.12. 1 FUKUOKA NOW「あじびレジデンスの部屋 第3期—川端通商店街から生まれた」
(<https://www.fukuoka-now.com/ja/event/room-of-fukuoka-asian-art-museum-residence-vol-3-originated-in-kawabata-shotengai/>)
- 2020.12.25 プラスフクオカ「あじびレジデンスの部屋 第4期—福岡で出会ったひと」
(<https://plusfukuoka.com/faam-202101-ajibi-residence-exhibition/>)
- 2021. 2.27 TRILL「アジア美術の交流、福岡県福岡市の福岡アジア美術館で「あじびレジデンスの部屋 福岡で出会ったひと」が開催中」
(<https://trilltrill.jp/articles/1809752>)

教育普及事業

◎団体見学

麻生外語観光&製菓専門学校	38人	10月 5日
麻生外語観光&製菓専門学校	36人	10月12日
麻生建築&デザイン専門学校	42人	10月12日
みやこ町立勝山中学校	12人	11月 7日
九州産業大学	51人	12月 6日
福岡市立博多高等学園	23人	12月 8日
福岡教育大付属福岡小学校	38人	12月10日
福岡教育大付属福岡小学校	37人	1月21日
福岡教育大付属福岡小学校	38人	1月28日

九州大学 芸術工学部 10人 12月20日

福岡市教育委員会指導部教育相談課

適応指導教室「はまかせ学級」 24人 2月26日

◎博物館実習

(5月から10月までの中で10日間程度)

佐賀大学	1人
西南学院大学	1人
筑紫女学園大学	1人
福岡大学	1人

1 福岡ミュージアムウィーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

「出会いの場」「知識の場」「発見の場」としての美術館・博物館の役割をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の文化施設が連携し、5月16日から24日まで様々なイベントを開催する予定だった。

2 博多旧市街まるごとミュージアム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

博多旧市街ライトアップウォークと連携し、ライトアップ会場である寺社に国内外のアーティストによる多彩なアート作品を展示し、「古い」と「新しい」が混在した新たな博多の魅力を発信する予定だった。

ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の影響による休館中、ボランティア活動も休止した(4月～6月、1月～2月)。休止期間中は、各グループの担当職員が連絡を取りながら個々に自主研修を行ったり、オンラインでミーティングを開催した。活動再開後も、ボランティアによる対面の来館者サービス(施設案内・作品解説、アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ)は休止を継続した。

総会は8月書面評決で行い、3月に活動支援ボランティア主催で研修会を対面とオンラインを併用して開催した。

活動内容およびグループ別のべ人数(ひとりが複数のグループで活動可)

2021年3月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	76
図書資料	アートカフェの書架整理および蔵書点検	27
アーカイブ	新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理	47
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	21
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	34
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	16
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	202
のべ人数		423
ボランティア登録者数		202

活動

【案内・解説】

7月1日より活動開始。月例ミーティングを再開し、学校向けの対話型鑑賞のファシリテーター研修を再開した。10月24日のミーティングでオンラインアプリZoomの使い方を試行する会を行った。11月以降はZoomと対面を併用してミーティングを行い、コロナ禍でもできる活動について議論した。新規メンバーについてはコロナ収束後の来館者サービスに向けて担当職員が適宜オンラインで実地研修を行った。

【図書資料】

7月より活動開始。ブログに掲載するアートカフェのおすすめ図書の選書や書架整理などを行った。9月10日にグループミーティングを開催し、前年度の振り返りと今年度の活動について確認した。以後、個々の活動は継続して行い、2月7日に蔵書点検を行った。

【アーカイブ】

7月2日より活動開始。密にならぬよう活動場所を増やして新聞・雑誌のスクラップ作業を行った。8月1日にミーティングを行い、今年度の活動について確認した後はミーティングは開催せず、個々で活動を続けた。頻繁に来館しづらい状況であることと活動の進捗状況を踏まえて、スクラップの作業手順を簡素化するなどの対応を行った。

【広報】

7月2日より活動開始。季刊広報誌「あじびニュース」の発送を行った。10月6日、12月25日にも広報誌の発送作業を行い、終了後に定例ミーティングを開催して近況などを報告し合った。

【読み聞かせ】

7月14日のグループミーティングより活動開始し、今年度から加わった7人の新規メンバーとの顔合わせを行った。読み聞かせイベント「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」は今年度開催できなかったため、「基本に戻る」をテーマに各自で自主研修を行った。11月1日、3月9日にグループミーティングを開催し、終了後に新規メンバーを含む参加者で実践練習を行った。

【交流】

レジデンス事業の中止および「おいでよ！絵本ミュージアム2020」展がオンライン開催となったため、活動は行わなかった。

【活動支援】

7月より活動開始。7月25日、9月12日にグループミーティングを行いコロナ禍でもできる活動支援について検討した。10月16日、11月21日のミーティングでは、ブログを活用した各グループの活動紹介、総館長へのインタビュー、ボランティア研修会の企画等を行った。12月5日のミーティングより対面とZoomを併用したミーティングを開始し、3月13日に研修会の事前準備を行い3月20日にボランティア研修会を開催した。



総館長インタビュー



研修会1



研修会2

《活動支援主催によるボランティア催事》

◇総館長インタビュー

8月25日 山方浩(総館長)

◇研修会

3月20日 「アジアにめざめたら」にめざめたら—東京・韓国・シンガポール展を見て
講師：黒田雷児(運営部長)

□その他

◇新型コロナウイルス感染症対策による活動休止

(2020年4月1日(前年度2月21日)～6月30日、2021年1月15日～2月28日)

◇ボランティア総会

8月27日 書面評決